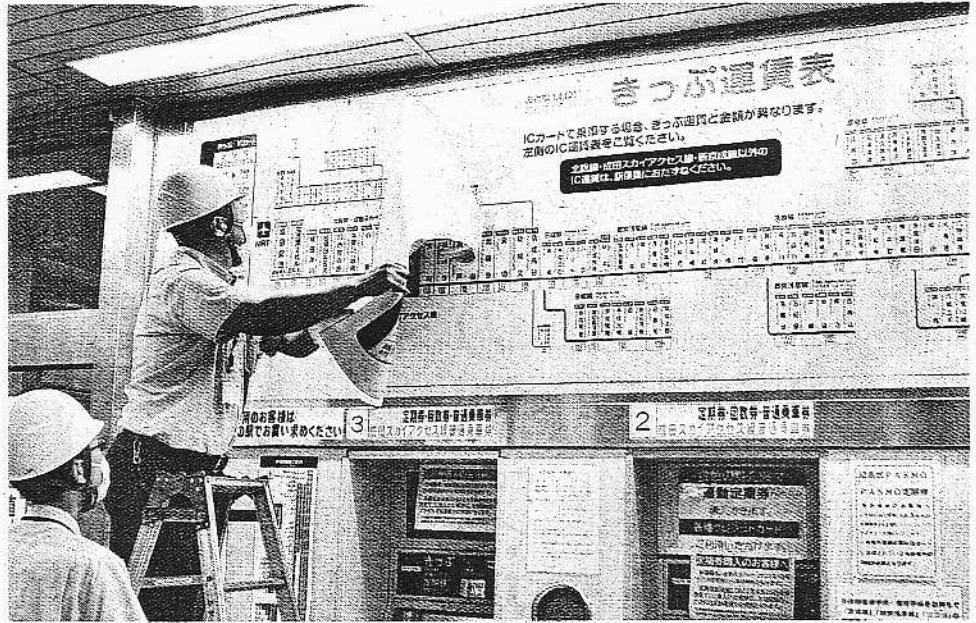


2022.10.2

# 秋の値上げ路線 並走せず 北総線 初の 値下げ

「日本一高い」といわれた鉄道・北総線(京成高砂・印旛日本医大間)の運賃が1日、値下げされた。抜本的な引き下げは1979年の開業以来初めて。値下げ率は平均15・4%で、通学定期は64・7%と大きく、物価高騰の秋に家計負担が減ることから、定期券販売の窓口には初日から学生らが長い列を作った。今後、混雑が予想されるため、運行会社の北総鉄道(鎌ヶ谷市)は7日まで定期券窓口の営業時間を延長して対応する。



値下げ後の運賃案内板に更新する職員 = 1日午前1時過ぎ、鎌ヶ谷市の北総線新鎌ヶ谷駅

新京成、東武の2線と接続する新鎌ヶ谷駅(鎌ヶ谷市)では、1日午前1時過ぎから駅員4人で改札前の運賃案内板を更新。初乗り210円が190円に変わるなど新運賃が表示された。各駅への値下げ幅は、切符だと最大100円。ICは最大105円(初乗りは203円が188円)。値下げは昨年11月に発表され、利用者の多くが知っていた。特に値下げ幅が大

## 通学定期64%引 早速行列



運賃値下げに伴って、定期券の切り替え客が夕方になっても列をつくった北総線の千葉ニュータウン中央駅の窓口 = 1日午後4時20分ごろ、印西市

きい通学定期を利用する学生は歓迎ムード。白井市から東京都内に通学する大学1年生の女性(19)は「定期代は今まで半年で11万円。値下げで、親に出してもらったお金が少なくて済む。ありがたい」と感謝。払い戻しを伴う定期の切り替えや通学定期の新規購入は、東松戸(松戸市)、新鎌ヶ谷、千葉ニュータウン中央(印西市)の3駅の有人窓口で始まり、安い通

学定期に切り替える学生らが初日から行列。午後4時ごろ、千葉ニュータウン中央駅では50人ほどが並び、1時間待ちに。印西市の実家から通う大学4年生の男性(22)は「わが家は経済的に苦しく、この秋の食品などの値上げの影響も少なくない。北総線の値下げはよかったが、来春には卒業なので、本音を言えばもう少し早く値下げしてもらいたかった」と明かした。今後も申請の集中が予想されるため、通常午前7時〜午後8時の同窓口を今後1週間は始発〜午後11時半に延長。数時間ごとの混雑状況をホームページやSNSで発信する。

一方で通勤定期の値下げ率は13・8%。埼玉県内に勤める印西市の男性会社員(25)は「交通費は会社持ちなので実感はあまりない。都内には、遠回りで安い別の鉄道を使う場合が多い。通常運賃ももう少し安くすれば…」と望んだ。

新鎌ヶ谷駅などの担当助役で運転士経験も長い刑部貴紀さん(46)は「5歳から北総線沿線で育ち、運賃が高いと思っていただけなのに、気持ちも分かるので感無量。今後も安全な運行に万全を期す」と話した。